世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World
Musashino University
武蔵野大学 学術機関リポジトリ
Musashino University Academic Institutional Repository

特集：英語教育の現在

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2017-06-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 日野, 慧運 メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/520

特 集：英語教育の現在

教養教育リサーチセンター
紀要編集委員長
日野　慧運

本年度４月、本学にグローバル学部が誕生しました。武蔵野大学は、４学期制も軌道に乗せ、海外との人的交流も活発になり、いよいよ国際的な発信力を高めつつあります。新設されたグローバル学部は、英語や中国語といった主要語学の習得を基盤としつつ、さらにより高度で多面的な専門力を持ち、対話力・発信力を備えて、グローバル化とデジタル化が進む現代社会で活躍できる人材育成を目指すもの、と謳われています。しかし、ここに言われる現代社会とは、当然ながらグローバル学部の学生のみならず、あらゆる学部の学生たちが今後活躍してゆく世界のことを指しています。したがって、全学学生の基礎教育を担う教養教育部において、とくに語学教育の重要性がますます高まってゆくことは、疑いを容れません。

こうした現状に鑑み、またグローバル学部新設を記念する意味も込めて、本号では「英語教育の現在」と題して、大学英語教育に関連する諸研究を特集いたします。

櫻井千佳子先生には、これからの時代に不可欠な自律的な態度を持つ学習者を育成する手がかりとして、教室内と教室外の英語学習を有機的に連動させるために、インターネットを介したデジタルコンテンツを活用した専門英語教育（English for Specific Purposes）の事例研究をご報告いただいています。

谷口ラケル先生には、「外国語」としての英語教育を取り上げながら、同内容でも学習者にとってより理解しやすいと感じられる英語とはどのようなものか、という比較調査結果をご報告いただきました。

間中和歌江先生には、新入学生に対する精神的側面からの学習支援という視点をも取り入れて、英語の発音練習を伴う協同学習を指導した実践例を、ご報告いただいております。

中竹真依子先生には、英文アカデミック・ライティング教授の現場において、チューターとして指導する大学院生の側にも、対話能力・英文読解力の向上や「書き手」としての成長が見られたという事例研究をご寄稿いただきました。本学教養教育部にはまだこうした授業法はありませんが、この手法の将来的な広がりを考えれば、学ぶところ大と言うべきでしょう。

以上、様々な角度からの英語教育に関する調査報告を一同に掲載することができましたのは、編集委員の喜びとするところです。この特集が、英語教育の将来のみならず、教養教育部全体の資となることを念じます。